

## 宮崎県漁協職員連絡協議会 委員長 時任龍彦

皆様、明けましておめでとうございます。

新年を迎えるにあたり一言ご挨拶を申し上げます。

元号が「平成」から「令和」となり初めての新年でございます。

昨年中は漁協職連の活動におきまして漁業者の皆様方をはじめ関係機関の皆様方には深いご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

昨年の主な活動といたしましては、第63回定期総会終了後に宮崎県人権同和対策課による「暮らしの中の人権」をテーマに人権研修を開催致しました。

また、県中・県南の2地区においてはボウリング大会を開催し例年通り数多くの会員の皆さんに参加を頂いたことで会員間の連携がより一層深まったのではないかと考えているところであります。

現在、職連ではこのような行事を通して会員間の親睦と融和を図っておりますが、活動を更に盛り上げていきたいと思っております。

さて、昨今の漁業を取り巻く情勢といいますと、水産資源の減少、就業者数の減少やこれによる漁船減少等の漁業構造問題が山積みし、我々漁業界は深刻な状況に追い込まれております。

更に、水産政策の改革による漁業法の一部改正に伴い、養殖・沿岸漁業の発展に資する海面利用制度の見直し等、漁協事務の負担増も予測されております。

このような中、水産物を消費者に供給し豊かな水産資源と美しい海洋環境を維持し、次の世代へ引き継ぐことこそが、これからの漁業者並びに海に携わる私たち漁協系統職員の責務であることを再認識しております。

我々職連といたしましては諸活動を通じて漁業の発展と会員の福祉の向上に諸活動を通じて積極的に取り組んで参りたいと思っております。

最後になりますが、今年一年が会員の皆様方にとって素晴らしい年でありますことと、漁業者の皆様への航海安全と豊漁の良き年となることをお祈り致しまして新年に当たりましてのご挨拶と致します。

